

我が社の地球温暖化防止実行計画

事業主名 金沢中央郵便局

策定年月 平成15年10月

1 事業内容

○ 郵政3事業（郵便・貯金・保険）

日本郵政公社が発足となり、金沢中央郵便局では、全職員が一丸となり、これまで以上にお客さま第一の視点をもって高品質なサービスの提供に邁進するとともに、経営基盤の確立を図り、健全な郵便局経営を目指すこととしています。

そのため、職場における諸課題の解決や各種目標の早期達成に全力を注ぐとともに、地域社会に貢献する郵便局として、自治体等との連携強化を図っています。

2 事務・事業から排出される温室効果ガスの主な要因

- ・車両の走行によるガソリンの使用
- ・冷暖房機器等の燃料（重油、灯油、電気）の使用
- ・OA機器、コピー機、照明等による電気の使用

3 温室効果ガスの削減目標（目標年度 平成19年度、基準年度 平成14年度）

二酸化炭素排出量を 1,432,259kgから1,360,646kgにする（5%削減）

[削減内訳]

電気	7%	ガソリン	3%	灯油	5%
都市ガス	5%	軽油	2%	重油	2%
自動車走行距離	2%				

4 その他の削減目標

コピー用紙（A4）購入量	5%	廃棄物（段ボール、雑誌、新聞等）	3%
水道使用料	3%		

5 温室効果ガス削減に向けての主な対策

(1) 電気

- ・電力メニューの見直し（メニューを見直し、契約電力を変更済み）
- ・エレベータ使用の制限
- ・冷暖房の温度設定適正化
（冷房時28度、暖房時20度、ただし窓口は冷房時26度、暖房時22度）
- ・電灯へのプルスイッチ取り付け
- ・休憩時間の一斉消灯

- ・電灯不要箇所不要時間帯の細かな消灯
- ・コピー機未使用時のパワーセーブモードの徹底
- ・窓ガラスにフィルムを貼る（1階窓口の窓ガラスにフィルムを貼付済み）
- ・節電チェック表によるパトロールの実施（実施中）

(2)重油

- ・冷暖房の温度設定適正化
（冷房時28度、暖房時20度、ただし窓口は冷房時26度、暖房時22度）

(3)ガソリン

- ・制限速度遵守と急発進・急ブレーキをしない
- ・適正なタイヤ空気圧
- ・制限速度の遵守
- ・マイカー通勤自粛デーの設定

(4)消耗品

- ・コピーの制限と裏面使用（実施中）
- ・消耗品のリサイクル化
（会計系の物品庫にリサイクルコーナーを設置済み）
- ・グリーン購入の推進（再生紙の使用、購入、物品のエコ商品購入）
- ・リサイクルボックスの設置（実施中）
- ・各種資料等の配布数の適正化

(5)水道

- ・トイレの貯水タンクに水の入ったペットボトルを沈める
- ・融雪装置は、出しっ放しにせず、時間単位で使用する
- ・洗車の回数を減らす

(6)支社要求

- ・ハイブリットカーの導入
- ・トイレ等の電灯のセンサー化

(7)その他

- ・ゴミ分別廃棄の徹底
- ・緑の育成

6 その他の環境対策

- ・毎月第二水曜日を「地域貢献デー」として、局周辺の清掃を実施

【問い合わせ先】

金沢中央郵便局 総務課 鍛冶 均

TEL 076-224-3804 FAX 076-232-3886

メールアドレス daihyo-31001@isk.japanpost.jp

（アドレスは金沢中央郵便局代表のものです。件名か本文にあて名を記載願います）